

東日本大震災復興支援
～とどけよう スポーツの力を東北へ！～

第12回日韓青少年冬季スポーツ交流事業実施要項
＝文部科学省国庫補助事業＝ <日韓共同未来プロジェクト>

1 目的

2002年ワールドカップ・サッカー大会の日韓共同開催決定を契機に、幅広い年齢層を対象に各種のスポーツ交流を実施することによって、日韓両国の親善と友好をより一層深め、更には力国のスポーツの振興を図ることを目的とする。

2 交流方法

日韓両国の代表団員がお互いの国を訪問し、様々な交流を行う相互交流方式

3 主催

公益財団法人日本体育協会

4 共催

公益財団法人北海道体育協会 公益財団法人新潟県体育協会 公益財団法人全日本スキー連盟
公益財団法人日本スケート連盟 公益財団法人日本アイスホッケー連盟
公益社団法人日本カーリング協会 公益財団法人日本中学校体育連盟

5 後援

北海道教育委員会 新潟県教育委員会

6 事業内容

[派遣]

(1) 派遣対象 (159名)

- ① 北海道、新潟県の中学生 130名
- ② 各競技指導者 22名
- ③ 本部役員 7名

(2) 派遣期間 平成26年1月13日(月・祝)から19日(日)(7日間)

※ただし、旅行手配の都合により前泊を行うことがある。

(3) 競技 4競技<各競技別派遣人数構成>

区分/競技	新潟県		北海道				本部役員	合計
	スキー		スケート		アイスホッケー	カーリング		
	アルペン	クロカン	スピード	ショート				
中学校(男子)	12	12	15	15	22	5	—	76
中学校(女子)	12	12	15	15	—	5	—	54
指導者	3	3	5	3	5	3	—	22
本部役員	—	—	—	—	—	—	7	7
合計	27	27	35	23	27	13	7	159

(4) 会場

韓国・ソウル特別市及び江原道

(5) 経費

- ①参加料：1人1万円
- ②韓国内での滞在費は大韓体育会が負担する。
- ③以下の経費は公益財団法人日本体育協会負担

- ・集合、離散に関わる国内交通費
- ・前泊に伴う宿泊費、食事代、施設利用料（日程上、必要が生じた場合）
- ・韓国と甲に係る国際航空券代（燃料サーチャージ等諸経費を含む。）
- ・海外旅行傷害保険の加入に係る経費
- ・日本選手団ユニフォーム（競技用ユニフォームは各自手配すること。）

④以下の経費は参加者が負担する。

- ・自宅から最寄指定集合場所までの往復交通費
- ・パスポート取得に関する経費
- ・個人に係る経費（電話代、ルームサービス代等）

(6) 参加資格

< 団員 >

- ①所属都道府県体育協会が推薦する者
- ②平成 25 年 4 月 1 日現在、中学生とする。
- ③心身強健で協調性のある者
- ④地域、都道府県内外の交流経験がある者
- ⑤日本国籍を有する者

< 指導者 >

- ①当該体育協会が推薦する者
- ②年齢は 40 歳程度までの者
- ③国際交流において日本代表としてふさわしい人格・見識を有する者
- ④心身強健で協調性のある者
- ⑤日本国籍を有する者

(7) 選考

公益財団法人日本体育協会において行う。

[受 入]

(1) 受入対象 (159 名)

- ①韓国の中等部の生徒 130 名
- ②韓国指導者 22 名
- ③韓国本部役員 7 名

(2) 受入期間 平成 26 年 2 月 9 日から 15 日 (7 日間)

(3) 競技 4 競技 < 各競技別受入人数構成 >

区分/競技	新潟県		北海道				本部役員	合計
	スキー		スケート		アイス ホッケー	カーリ ング		
	アルペン	クロカン	スピード	ショート				
中等部 (男子)	12	12	15	15	22	5	—	76
中等部 (女子)	12	12	15	15	—	5	—	54
指導者	3	3	5	3	5	3	—	22
本部役員	—	—	—	—	—	—	7	7
合計	27	27	35	23	27	13	7	159

(4) 開催地

スキー：新潟県

スケート、アイスホッケー、カーリング：北海道

(5) 経費 公益財団法人日本体育協会負担